

## 高卒程度 公務員試験対策 自然科学テキスト&amp;問題集 解答・解説 正誤表 KK230101

高卒程度 公務員試験対策 自然科学テキスト&問題集 解答・解説に誤りがございました。訂正し、お詫び申し上げます。

該当箇所	誤	正
P16 物理5章 問題2	電車の速度を $v$ ，電車の音の振動数を $f_0$ とすると，ドップラー効果により，近づいてくるとき， $935 = f_0 \frac{340}{340 + v}$ ～～	電車の速度を $v$ ，電車の音の振動数を $f_0$ とすると，ドップラー効果により，近づいてくるとき， $935 = f_0 \frac{340}{340 - v}$ ～～
P21 化学3章 問題3	問題3 正答 3 定比例の法則は，物質が化学反応するとき，反応に関与する物質の質量の割合は，常に一定であるというもの。 ヘスの法則は，化学反応の生成熱は反応経路にかかわらず一定というもの。 シャルルの法則は，圧力一定のとき，気体の体積が絶対温度に比例するというもの。	問題3 正答 1 定比例の法則は，物質が化学反応するとき，反応に関与する物質の質量の割合は，常に一定であるというもの。 ヘスの法則は，化学反応の生成熱は反応経路にかかわらず一定というもの。 ボイルの法則は，温度一定のとき，気体の体積が圧力に反比例するというもの。
P21 化学4章 例題5 (1)	(1) 3 (mol)	(1) 6 (mol)
P22 化学4章 問題3	問題3 正答 4 $3.0 \times 10^{20}$ 個は $\frac{3.0 \times 10^{20}}{6.0 \times 10^{23}} = 5.0 \times 10^{-4}$ mol である。これが 0.037 g であり，分子量は 1 mol 当たりの質量を示す値になるので， $5.0 \times 10^{-4} \text{ [mol]} : 0.037 \text{ [g]} = 1 \text{ [mol]} : x$ $x = 74.0$	問題3 正答 4 $2.0 \times 10^{20}$ 個は $\frac{2.0 \times 10^{20}}{6.0 \times 10^{23}} = \frac{1}{3} \times 10^{-3}$ mol である。これが 0.06 g であり，分子量は 1 mol 当たりの質量を示す値になるので， $\frac{1}{3} \times 10^{-3} \text{ [mol]} : 0.06 \text{ [g]} = 1 \text{ [mol]} : x$ $x = 180.0$
P31 生物4章 問題14	問題14 正答 1	問題14 正答 3

※最新の正誤情報はウイネットホームページ (<https://wenet.co.jp>) で公開しております。

[商品カテゴリー] → [公務員試験] を選択し、該当書籍の詳細ページをご確認ください。